

Brilliance

241P6



www.philips.com/welcome

JA	ユーザーマニュアル	1
	カスタマサポートと保証	33
	トラブルシューティング & FAQ	38

PHILIPS

目次

1. 重要	1	11.2 一般FAQ	39
1.1 安全のための注意事項とメンテナンス	1	11.3 Multiview FAQ	42
1.2 表記の説明	2		
1.3 製品と梱包材料の廃棄	3		
2. モニタをセットアップする	4		
2.1 取り付け	4		
2.2 モニタを取り扱う	6		
2.3 MultiView	10		
2.4 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし	13		
2.5 MHL (モバイルハイディフィニションリンク) の概要	14		
3. 画像の最適化	15		
3.1 SmartImage	15		
3.2 SmartContrast	16		
4. PowerSensor™	17		
5. 光センサー	18		
6. 内蔵ウェブカメラ(マイク付き) .	19		
7. 技術仕様	20		
7.1 解像度とプリセットモード	23		
8. 電源管理	24		
9. 規制情報	25		
10. カスタマサポートと保証	33		
10.1 Philipsのフラットパネルモニタ画素欠陥ポリシー	33		
10.2 カスタマサポートと保証	35		
11. トラブルシューティング& FAQ 38			
11.1 トラブルシューティング	38		

1. 重要

この電子ユーザーズガイドは、Philips モニタを使用するユーザーを対象にしています。モニタを使用する前に、本ユーザーマニュアルをよくお読みください。モニタの取り扱いに関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips 保証は、その取り扱い指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

⚠ 警告

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電氣的障害、機械的災害につながる可能性があります。

コンピュータのモニタを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

取り扱い

- モニターを直射日光やきわめて明るい光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。これらの環境に長時間さらされると、モニタが変色したり損傷する結果を招きます。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、モニタの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- モニタの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでモニタの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源ケーブルやDC電源コードを取り付けて通常取り扱いを行ってください。

- 必ず、本製品に同梱されている電源コードを使用してください。電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください。
- 操作中、モニタに強い振動を与えたり、衝撃を加えないでください。
- 取り扱いまたは輸送中、モニタを強く打ったり落としたりしないでください。

メンテナンス

- モニタを損傷の可能性から保護するために、LCDパネルに過剰な圧力をかけないでください。モニタを動かすときは、フレームをつかんで持ち上げてください。またLCDパネルに手や指を置いてモニタを持ち上げないでください。
- 長時間使用しない場合は、電源のプラグを抜いてください。
- 汚れのふき取りには、柔らかい布をご使用ください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してモニタを洗浄することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、モニタを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- モニタが濡れた場合は、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- モニタに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。異物や水を取り除き、カスタマサポートにご連絡ください。
- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でモニタを保管したり、使用したりしないでください。
- モニタの最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る環境でモニタを使用してください。
 - 温度: 0~40°C 32-104°F
 - 湿度: 20~80% RH

焼き付き / ゴースト像に関する重要な情報

- モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。静止コンテンツを表示している場合、定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。
- スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

⚠ 警告

スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。上で触れた損傷は保証には含まれません。

修理

- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- マニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。(「カスタマケアセンター」のページを参照してください)
- 輸送情報については、「技術仕様」を参照してください。
- 直射日光下の車内/トランクにモニタを放置しないでください。

🚫 注

モニタが正常に作動しない場合、または本書に記載された手順が分からない場合、カスタマケアセンターにお問い合わせください。

1.2 表記の説明

次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

注、注意、警告

本書を通して、テキストのブロック k にはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。これらのブロックには注、注意、警告が含まれます。次のように使用されます。

🚫 注

このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムをもっと有効に活用する助けとなるものです。

⚠ 注意

このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法に関する情報を示します。

⚠ 警告

このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を示します。

警告には代わりの形式で表示され、アイコンが付かない場合もあります。このような場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。

1.3 製品と梱包材料の廃棄

廃電気電子機器 -WEEE



This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new monitor contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old monitor and packing from your sales representative.

Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the important of

making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

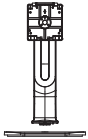
To learn more about our recycling program please visit

<http://www.philips.com/sites/philipsglobal/about/sustainability/ourenvironment/ourrecyclingprogram.page>

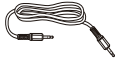
2. モニタをセットアップする

2.1 取り付け

1 パッケージに含まれるもの



AC/DC 電源



オーディオケーブル



*DVI



*DP



*VGA

* 国によって異なる

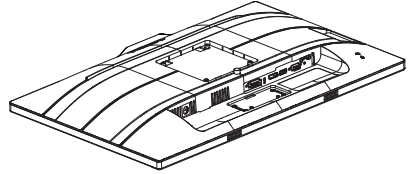
注

販売する国・地域により付属されるケーブルが異なる場合がございます。ケーブル付属は別紙のケーブル付属リストをご参照ください。

AC/DC アダプタモデルのみを使用:
Philips ADPC20120

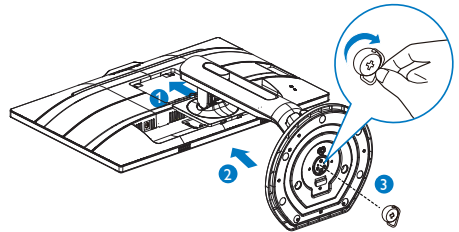
2 ベースの取り付け

1. モニタ面を下にして、滑らかな面に置きます。画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように注意してください。

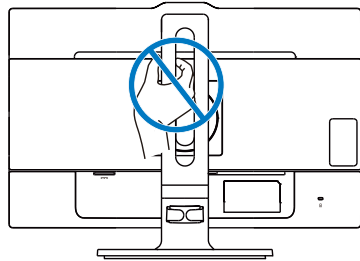


2. 両手でスタンドを持ちます。

- (1) VESA マウント部の掛け金がロックされるまでゆっくりとスタンドを取り付けます。
- (2) ベースをスタンドにそっと取り付けます。
- (3) 指を使ってベース下部にあるねじを締め付け、ベースをスタンドにしっかり固定します。

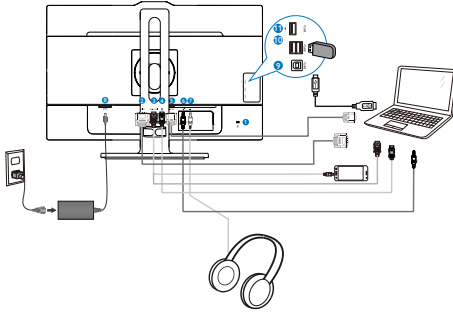


警告



2. モニタをセットアップする

3 PC に接続する



- ❶ オーディオケーブル (オプション)入力
- ❷ DVI入力
- ❸ MHL-HDMI入力
- ❹ ディスプレイポート入力
- ❺ VGA入力
- ❻ オーディオケーブル (オプション)入力
- ❼ イヤホンジャック
- ❽ AC/DC電源入力
- ❾ USB アップストリーム
- ❿ USB ダウンストリーム
- ⓫ USB 高速充電器

PC に接続する

1. 電源コードをモニター背面にしっかり接続します。
2. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜きます。
3. モニタに信号ケーブルを、コンピュータ背面のビデオコネクタに接続します。
4. コンピュータとモニタの電源コードをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータとモニタの電源をオンにします。モニタに画像が表示されたら、接続は完了です。

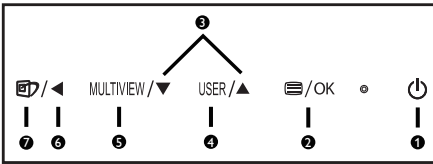
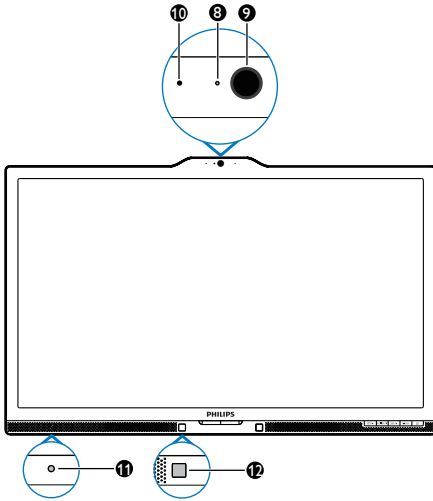
注

無線式のマウス、キーボード、ヘッドホンなど、USB 2.4Ghz デバイスは USB 3.0 デバイスの高速信号により干渉を受け、その結果、無線送信の効率性が低下する可能性があります。その場合、次の方法で干渉を抑えてください。

- USB2.0レシーバーをUSB3.0接続ポートから離す。
- 標準のUSB拡張ケーブルまたはUSBハブを利用し、無線レシーバーとUSB3.0接続ポートの間の距離を増やす。

2.2 モニタを取り扱うする

1 コントロールボタンの説明



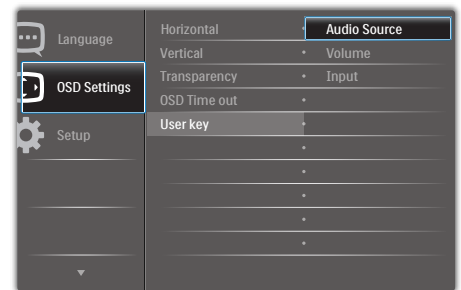
1	⏻	電源をオンまたはオフにします。
2	☰/OK	OSD メニューにアクセスします。 OSD 調整を確認します。
3	▲ ▼	OSD メニューを調整します。
4	USER	ユーザーのお気に入りキー。 OSD から自分専用のお気に入りの機能をカスタマイズして、「ユーザーキー」にします。
5	MULTIVIEW	PiP/PbP/ オフ / スワップ
6	◀	前の OSD レベルに戻ります。

7	🗨	SmartImage ホットキー。次の3つのタイプから選択します: Office(オフィス), Photo(写真), Movie(動画), Game(ゲーム), Economy(エコノミー), SmartUniformity(スマートユニフォーミティ), Off(オフ)。
8		ウェブカメラの動作ライト
9		2.0メガピクセルウェブカメラ
10		マイク
11		光センサー
12		PowerSensor

2 独自の「USER(ユーザー)」キーをカスタマイズする

このホットキーでは、お気に入りの機能キーをセットアップできます。

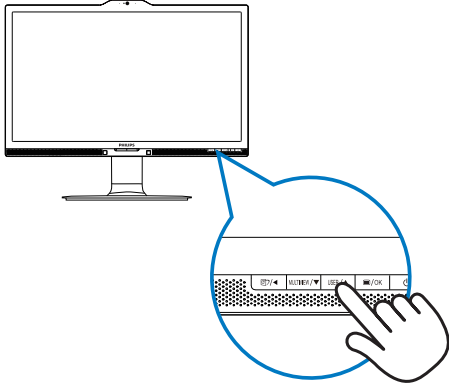
1. 前面ベゼルの ☰ ボタンを押して、OSD メニュー画面に入ります。



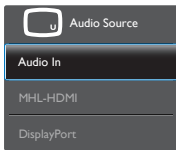
2. ▲または▼ボタンを押してメインメニュー[OSD Settings] (OSD設定) を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して[User key] (ユーザー) を選択し、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して、次のお気に入りの機能を選択します: [Audio Source] (オーディオケーブル (オプション)ソース)、[Volume] (音量)、または [Input (入力)] (入力)。

2. モニタをセットアップする

5. OKボタンを押して選択を確認します。前面ベゼルでホットキーを直接押すことができるようになりました。事前選択された機能のみがクイックアクセス用に表示されます。




6. 例えば、ホットキーとして [Audio Source] (オーディオケーブル (オプション) ソース) を選択した場合、前面ベゼルの USER ボタンを押すと、[Audio Source] (オーディオケーブル (オプション) ソース) メニューが表示されます。

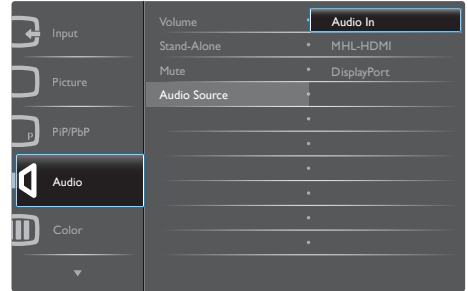


3 ビデオ入力に依存しない独立したオーディオケーブル (オプション) 再生

Philips モニタはビデオ入力に依存せず、オーディオケーブル (オプション) ソースを独立して再生できます。

1. 例えば、このモニタの [Audio In] (オーディオケーブル (オプション) 入力) ポートに接続されたオーディオケーブル (オプション) ソースからMP3プレーヤーを再生しながら、[MHL-HDMI] または [DisplayPort] から接続されたビデオソースを視聴することができます。

2. 前面ベゼルの  ボタンを押して、OSD メニュー画面に入ります。



3. ▲または▼ボタンを押してメインメニュー [Audio] (オーディオケーブル (オプション)) を選択し、OKボタンを押します。
4. ▲または▼ボタンを押して [Audio Source] (オーディオケーブル (オプション) ソース) を選択し、OKボタンを押します。
5. ▲または▼ボタンを押して、次のお気に入りのオーディオケーブル (オプション) ソースを選択します: [DisplayPort]、[MHL-HDMI]、または [Audio In] (オーディオケーブル (オプション) 入力)。
6. OKボタンを押して選択を確認します。

注

- 次にこのモニタをオンにすると、最後に選択したオーディオケーブル (オプション) ソースがデフォルトで選択されます。
- これを変更してデフォルトとしてお気に入りのオーディオケーブル (オプション) ソースを新しく選択するには、選択ステップを再び行う必要があります。

4 オンスクリーンディスプレイの説明

オンスクリーンディスプレイ (OSD) とは

オンスクリーンディスプレイ (OSD) はすべての Philips LCD モニタに装備されています。これにより、ユーザーはオンスクリーンの指示ウィンドウを通して直接画面パフォーマンスを調整したりモニタの機能を選択したりできます。オンスクリーンディスプレイインターフェースは、以下のように表示されます。

2. モニタをセットアップする



コントロールキーの基本および簡単な指示

OSD を表示して、モニタの前面ベゼルの ▼▲ ボタンを押してカーソルを動かしたり、OK ボタンを押して選択または変更を確認できます。

OSD メニュー

以下は、オンスクリーンディスプレイのメニュー一覧です。後でさまざまな調整を行いたいときに、こちらを参照してください。

Main menu	Sub menu	
PowerSensor	On	— 0, 1, 2, 3, 4
	Off	
LightSensor	On	
	Off	
Input	VGA	
	DVI	
	MHL-HDMI	
	DisplayPort	
Picture	Picture Format	— Wide screen, 4:3, 1:1
	Brightness	— 0-100
	Contrast	— 0-100
	Sharpness	— 0-100
	SmartResponse	— Off, Fast, Faster, Fastest
	SmartContrast	— On, Off
	Gamma	— 1.8, 2.0, 2.2, 2.4, 2.6
	Pixel Orbiting	— On, Off
	Over Scan	— On, Off
	PIP/PbP	PIP/PbP Mode
PIP/PbP Input		— VGA, DVI, MHL-HDMI, DisplayPort
PIP Size		— Small, Middle, Large
PIP Position		— Top-Right, Top-Left, Bottom-Right, Bottom-Left
Swap		
Audio	Volume	— 0-100
	Stand-Alone	— On, Off
	Mute	— On, Off
Audio Source	— Audio In, MHL-HDMI, DisplayPort	
Color	Color Temperature	— 5000K, 6500K, 7500K, 8200K, 9300K, 11500K
	sRGB	
	User Define	— Red: 0-100 — Green: 0-100 — Blue: 0-100
Language	— English, Deutsch, Español, Ελληνικά, Français, Italiano, Magyar, Nederlands, Português, Português do Brazil, Polski, Русский, Svenska, Suomi, Türkçe, Čeština, Українська, 简体中文, 繁體中文, 日本語, 한국어	
OSD Settings	Horizontal	— 0-100
	Vertical	— 0-100
	Transparency	— Off, 1, 2, 3, 4
	OSD Time Out	— 5s, 10s, 20s, 30s, 60s
	User Key	— Input, Audio Source, Volume
Setup	Auto	
	Power LED	— 0, 1, 2, 3, 4
	H. Position	— 0-100
	V. Position	— 0-100
	Phase	— 0-100
	Clock	— 0-100
	Resolution Notification	— On, Off
	DisplayPort	— 1.1, 1.2
	HDMI	— 1.4, 2.0
	Reset	— Yes, No
Information		

2. モニタをセットアップする

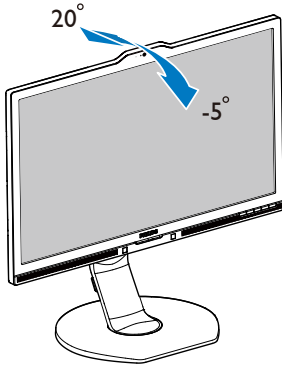
5 解像度アラート

このモニタは、そのネイティブ解像度 $3840 \times 2160@60\text{Hz}$ で最適なパフォーマンスを発揮するように設計されています。モニタが異なる解像度で作動しているとき、画面にアラートが表示されます。Use $3840 \times 2160@60\text{Hz}$ for best results ($3840 \times 2160@60\text{Hz}$ を使用してください。)

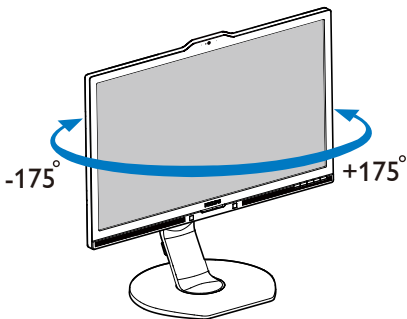
解像度アラートの表示は、OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューの Setup (セットアップ) からオフに切り替えることができます。

6 向度調整

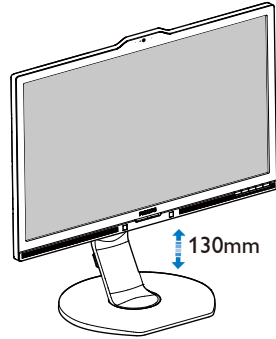
チルト



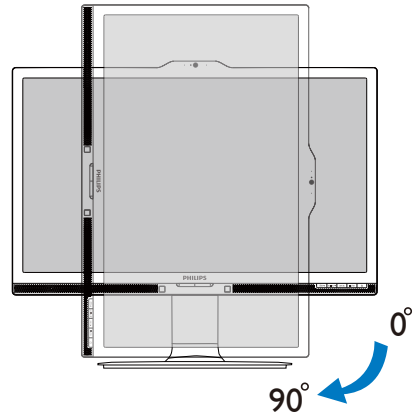
スイベル



高さ調節



ピボット



2.3 MultiView



1 これは何ですか？

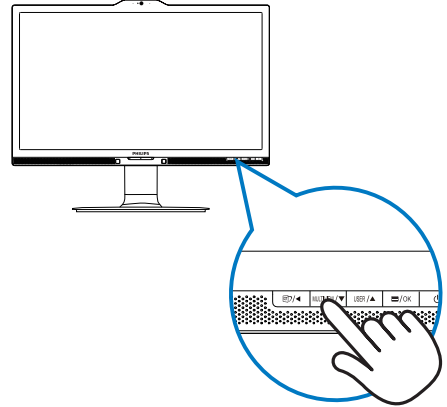
Multiview により、アクティブなデュアル接続が可能になり、デスクトップ PC やノート PC のような複数のデバイスを同時に並べて使用できるようになるため、複雑なマルチタスク作業がやりやすくなります。

2 必要な理由は？

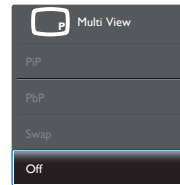
超高解像度 Philips MultiView ディスプレイでは、職場でも家庭でも快適なコネクターを享受できます。このディスプレイを使用することで、1つの画面で複数のコンテンツソースを簡単にお楽しみになれます。例：小さなウィンドウでオーディオケーブル（オプション）をオンにしたままライブニュースビデオを見ながら、最新のブログに取り組んだり、ウルトラブックから Excel ファイルを編集しながら、安全な会社のイントラネットにログインしてデスクトップからファイルにアクセスしたいと思ったことがあるかもしれません。

3 ホットキーで MultiView を有効にするにはどうすればいいのですか？

1. 前面ベゼルでホットキー MULTIVIEW を直接押します。



2. MultiView 選択メニューが表示されます。
▲または▼ボタンを押して選択します。



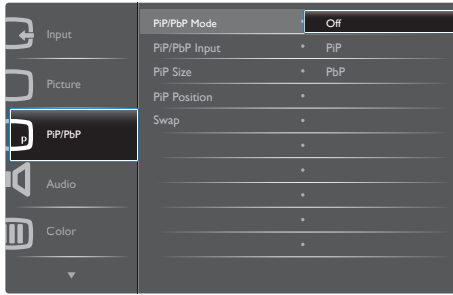
3. OK ボタンを押して選択を確認すると、自動的に終了します。

4 OSD メニューで MultiView を有効にするにはどうすればいいのですか？

前面ベゼルでホットキー MULTIVIEW を直接押すだけでなく、MultiView 機能を OSD メニューで選択することもできます。

1. 前面ベゼルの  ボタンを押して、OSD メニュー画面に入ります。

2. モニタをセットアップする



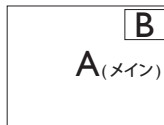
- ▲または▼ボタンを押してメインメニューを選択し[PiP / PbP]、OKボタンを押します。
 - ▲または▼ボタンを押して[PiP / PbP Mode] (PiP / PbPモード) を選択し、OKボタンを押します。
 - ▲または▼ボタンを押して [PiP] または [PbP] を選択します。
 - 前に戻って[PiP / PbP Input] (PiP / PbP入力)、[PiP Size] (PiPサイズ)、[PiP Position] (PiP位置)、[Swap] (スワップ) を設定できるようになりました。
2. OKボタンを押して選択を確認します。

5 OSDメニューの MultiView

- PiP / PbP Mode (PiP / PbPモード): MultiViewには、次の2つのモードがあります: [PiP]および[PbP]。

[PiP]: ピクチャインピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを開きます。

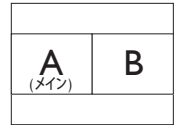


サブソースが検出されない場合:

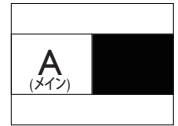


[PbP]: ピクチャバイピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを並べて開きます。



サブソースが検出されない場合:



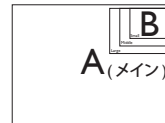
注

PbP モードに入っているとき、画面の上下に黒いストライプが表示されると正しい縦横比になっています。

- PiP / PbP Input (PiP / PbP入力): サブディスプレイソースとして、次の4つの異なるビデオ入力を選択できます: [VGA]、[DVI]、[MHL-HDMI]、[DisplayPort]。
- メイン/サブ入力ソースの互換性については、以下の表を参照してください。

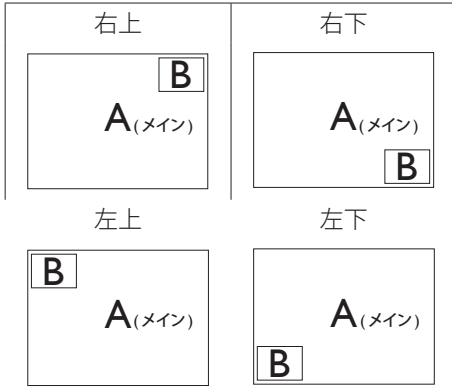
MultiView	入力	サブソースの可能性 (x1)			
		VGA	DP	DVI	MHL-HDMI
メインソース (x1)	VGA	●	●	●	●
	DP	●	●	●	●
	DVI	●	●	●	●
	MHL-HDMI	●	●	●	●

- PiP Size(PiPサイズ): PiPがアクティブになっているとき、次の3つのサブウィンドウサイズを選択できます。[Small] (小)、[Middle] (中)、[Large] (大)。



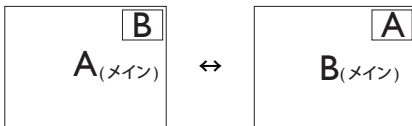
- PiP Position(PiP位置): PiPがアクティブになっているとき、次の2つのサブウィンドウ位置を選択できます。

2. モニタをセットアップする

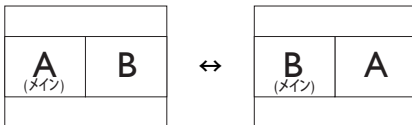


- **Swap(スワップ)**: ディスプレイでスワップされたメインピクチャソースとサブピクチャソース。

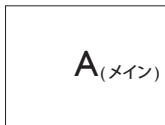
[PiP] モードの A と B ソースのスワップ:



[PbP] モードの A と B ソースのスワップ:



- **Off(オフ)**: MultiView機能を停止します。



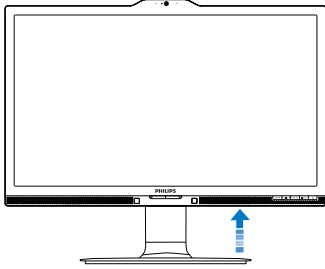
注

- スワップ機能を実行すると、ビデオとそのオーディオケーブル (オプション) ソースが同時にスワップされます。(詳細については7ページの「**ビデオ入力に依存しない独立したオーディオケーブル (オプション)再生**」を参照してください。)

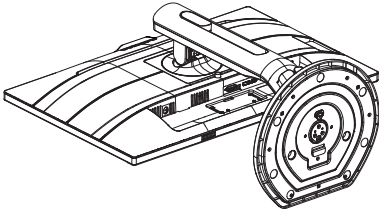
2.4 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし

破損や負傷を防ぐため、モニターベースの取り外しを始める前に下記の指示に従ってください。

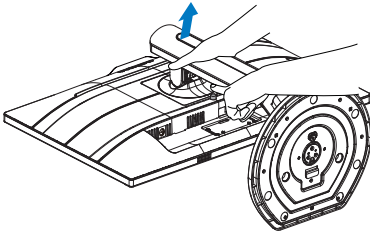
1. モニタベースを最大高さまで伸ばします。



2. モニタ面を下にして、滑らかな面に置きます。画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように注意してください。モニタスタンドを持ち上げます。

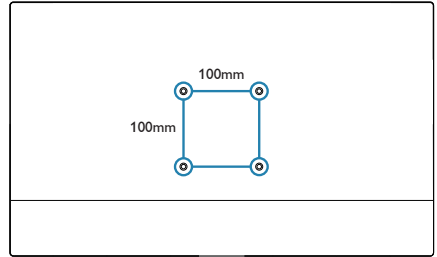


3. リリースボタンを押したまま、ベースを傾けて、スライドしてはずします。



注

このモニターは 100mm x 100mm VESA 準拠の取り付けインターフェースを受け入れます。VESA 取り付けねじ M4。壁取り付け設置については、必ず、製造メーカーにお問い合わせください。



2.5 MHL (モバイルハイディフィニションリンク) の概要

1 これは何ですか？

モバイルハイディフィニションリンク (MHL) は携帯電話やその他のポータブルデバイスをハイディフィニションディスプレイに直接接続するためのモバイルオーディオ/ビデオインターフェースです。

オプションの MHL ケーブルにより、MHL 対応のモバイルデバイスをこの大型 Philips MHL ディスプレイに簡単に接続し、フルデジタルサウンドと共に HD ビデオを見ることができ、この大型画面でモバイルゲーム、写真、動画、その他のアプリを楽しむことができるだけでなく、同時にモバイルデバイスを充電することもできるため途中で充電切れになることはありません。

2 MHL 機能はどのように使用するので

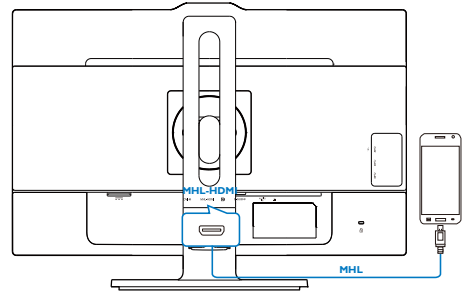
MHL 機能を使用するには、MHL 認定のモバイルデバイスが必要です。MHL 認定デバイスのリストを見つけるには、公式 MHL Web サイト (<http://www.mhlconsortium.org>) にアクセスしてください

この機能を使用するには、オプションの MHL 認定の専用ケーブルも必要です。

3 これは、どのように作動するのですか？ (どのように接続すればいいのですか？)

オプションの MHL ケーブルをモバイルデバイス側のミニ USB ポートに接続し、[MHLHDMI] とマークされたポートをモニター側に接続します。これで大型の画面ディスプレイに画像を表示して、モバイルデバイスでインターネットサーフィン、ゲーム、写真閲覧などの、すべての機能を操作できるようになります。モニターにスピーカー機能が搭載されている場合、サウンドも聴くことができます。MHL ケーブルが外れたり、モバイルデバイスがオフになったりすると、

MHL 機能は自動的に無効になります。



注

- [MHLHDMI]とマークされたポートは、MHLケーブルが使用されているときにMHL機能をサポートするポートです。MHLケーブルは、標準のHDMIケーブルとは異なります。MHL認定ケーブルは、標準のHDMIケーブルとは異なります。
- MHL認定のモバイルデバイスは、別途購入する必要があります
- 他のデバイスがすでに作動中で使用可能な入力に接続されている場合、モニタをアクティブにするにはモニタをMHLHDMIモードに手動で切り替える必要があります。
- ErPのスタンバイ/オフ省エネは、MHL充電機能には対応していません
- このPhilips ディスプレイはMHLの認定を受けています。ただし、MHLデバイスが正しく接続または機能しない場合、MHLデバイスのFAQを参照するかメーカーにお問い合わせください。製造元のポリシーでは、他社ブランドのMHLデバイスで機能できるようにするには、そのブランド固有のMHLケーブルまたはアダプタを購入するよう要求しています。これについては、Philips ディスプレイに責任はありません。

3. 画像の最適化

3.1 SmartImage

1 これは何ですか？

SmartImage はさまざまな種類のコンテンツ用のディスプレイを最適化するようにプリセットされて、輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整します。テキストアプリケーションで作業しているか、画像を表示しているか、ビデオを見ているかに関わらず、Philips SmartImage は最適化された最高のモニタパフォーマンスを発揮します。

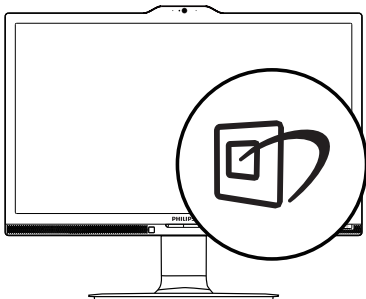
2 必要な理由とは？




あなたはどのような種類のコンテンツに対しても、きわめて明瞭な映像が表示され快適な状態で鑑賞できることを求めています。SmartContrast はコントラストをダイナミックに制御しバックライトを調整してクリアで、くっきりした、見やすいゲームとビデオ画像を実現したり、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。

3 これは、どのように作動するのですか？

SmartImage は画面に表示されたコンテンツを分析する Philips 独自の最先端技術です。選択したシナリオに基づき、SmartImage は画像のコントラスト、彩度、シャープネスをダイナミックに強化して表示されるコンテンツを強化します。すべては 1 つのボタンを押すだけでリアルタイムで行われます。

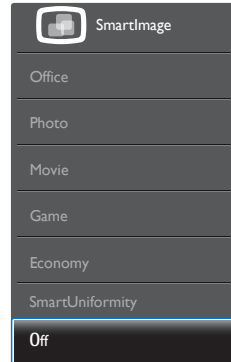
4 SmartImage はどのようにして有効にするのですか？



1.  を押して画面ディスプレイで SmartImage を起動します。
2.   を押し続けると、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、SmartUniformity(スマートユニフォーミティ)、Off(オフ)が切り替わります。
3. 画面ディスプレイの SmartImage は 5 秒間画面に表示されています。または「OK」を押して確認することもできます。

次の 3 つのタイプから選択します：

Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、SmartUniformity(スマートユニフォーミティ)、Off(オフ)。



- **Office(オフィス):** テキストを強化して輝度を抑えることで読みやすさを向上し、目の疲れを和らげます。スプレッドシート、PDFファイル、スキャンされた記事、その他の一般的オフィスアプリケーションで作業しているとき、このモードは読みやすさと生産性を大幅に向上します。
- **Photo(写真):** このプロファイルは彩度、ダイナミックコントラスト、シャープネス強化を組み合わせて、写真やその他の画像を躍動感にあふれる色でくっきりと表示します。アーティファクトが生じたり色がぼやけることはありません。
- **Movie(動画):** 輝度を上げ、彩度、ダイナミックコントラスト、レーザーシャープネスを深め、ビデオの暗い領域を細部まで表示します。明るい領域の色落ちはなく、ダ

3. 画像の最適化

イナミックな自然値を維持して究極のビデオ表示を実現します。

- **Game(ゲーム):** 駆動回路上でオンになると画面で動く物体の応答時間が速くなり、ぎざぎざの縁が減少して、明るいスキームや暗いスキームのコントラスト比が向上します。このプロファイルはゲーマーに最高のゲーム体験を提供します。
- **Economy(エコノミー):** このプロファイルの下で、輝度、コントラストが調整され、毎日のオフィスアプリケーションを適切に展示するためにバックライトを微調整して、消費電力を下げます。
- **SmartUniformity(スマートユニフォーミティ):** 画面の異なる部分で、輝度および色の変動するのは、LCDモニターでは一般的な現象です。一般的な均一性は約75-80%と測定されます。Philips SmartUniformity機能を有効にすると、ディスプレイの均一性は95%以上に向上します。これによって、生成された画像の一貫性と忠実性が向上します。
- **Off(オフ):** SmartImageで最適化はされません。

3 これは、どのように作動するのですか？

SmartContrast をアクティブにするとき、表示しているコンテンツをリアルタイムで分析して色を調整しバックライト強度を制御します。この機能はビデオを表示したりゲームをプレーしているとき、コントラストをダイナミックに強化して素晴らしいエンタテインメント体験を体験できるようにします。

3.2 SmartContrast

1 これは何ですか？

表示されたコンテンツをダイナミックに分析したり、モニターのコントラスト比を自動的に最適化して映像の明瞭さを最大限に高めたり、バックライトを強化することでクリアで、くっきりした、明るい画像を実現したり、バックライトを薄暗くすることで暗い背景で画像をクリアに表示したりする独特な技術です。

2 必要な理由は何？

あなたはどのような種類のコンテンツに対しても、きわめて明瞭な映像が表示され快適な状態で鑑賞できることを求めています。SmartContrast はコントラストをダイナミックに制御しバックライトを調整してクリアで、くっきりした、明るいゲームとビデオ画像を実現したり、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。モニターの消費電力を抑えることで、エネルギーコストを節約し、モニターの寿命を延ばすことができます。

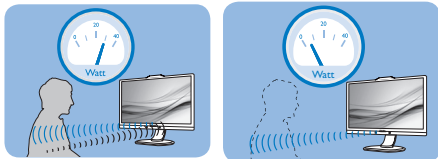
4. PowerSensor™

1 これは、どのように作動するのですか？

- PowerSensorはユーザーの存在を検出するために、無害な「赤外線」信号の送受信の原理で作動します。
- ユーザーがモニタの正面にいる場合、モニタはユーザーが設定した事前定義された設定(輝度、コントラスト、色など)で通常作動します。
- 例えば、モニタが100%の輝度に設定されていると仮定して、ユーザーが席を離れモニタの前になくなった場合、モニタは電力消費を最大80%自動的に削減します。

ユーザーが正面にいる

ユーザーがいない



上に示した電力消費は参照目的のみです。

2 設定

デフォルトの設定

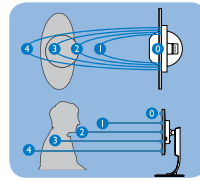
PowerSensor (パワーセンサー) はディスプレイから30~100 cmの間、およびモニタの左右に5度以内にあるユーザーの存在を検出するように設計されています。

カスタム設定

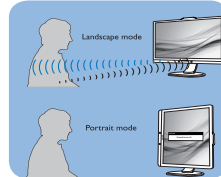
上に一覧した周囲の外側の位置の方を好む場合、最適の検出効率についてより強い信号を選択してください。設定が高いほど、検出信号は強くなります。PowerSensorの効率を最大限に高め適切に検出するために、自分自身をモニタの真正面に置いてください。

- モニタから100 cm以上自分を離して置くことを選択した場合、120 cmまでの距離に対して最大検出信号を使用してください。(設定4)
- ユーザーがディスプレイから100 cm以内の距離にいる場合でも暗い色の衣服を着ていると赤外線信号を吸収する傾向があるため、黒や他の暗い衣服を着ているときは信号強度を強くしてください。

センサーの距離



横置き/縦置きモード



上のイラストは参照目的のみで、本モデルの正確なディスプレイを反映しないことがあります。

3 設定の調整方法

PowerSensorがデフォルトの範囲内でまたは外で正しく作動していない場合、以下の検出を微調整する方法を参照してください。

- OSDメニュー画面に入り、▲または▼ボタンを押し、[PowerSensor]を選択し、OKボタンを押します。
- PowerSensorをオンにします。
- 設定4を選択し、OKを押します。
- 新しいセットアップをテストして、PowerSensorが現在の位置で適切にあなたを検出するか調べます。
- PowerSensor機能は、横置きモード(水平位置)でのみ作動するように設計されています。PowerSensorの電源がオンになると、モニタが縦置きモード(90度/垂直位置)で使用されている場合自動的にオフになります。モニタがデフォルトの横置き位置に戻ると自動的にオンになります。

注

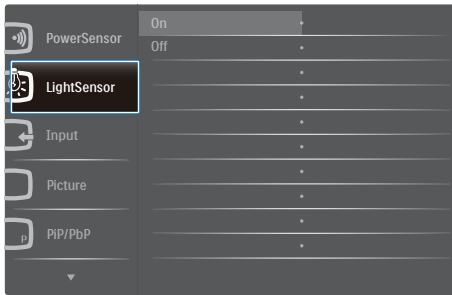
手動で選択した PowerSensor モードが再調整されない限り、またはデフォルトモードが呼び出されるまで、現在のモードが作動し続けます。何らかの理由で、PowerSensor が近くの動きに過度に敏感に反応する場合、信号強度を低く調整してください。


5. 光センサー

1 これは何ですか?

光センサーは、画質設定を自動的に調整するために入力信号を測定・分析して、画質を最適化するユニークでインテリジェントな方法です。光センサーは、室内光条件に応じて画像の明るさを調整するためにセンサーを使用しています。

2 光センサーをどのようにして有効にするのですか?



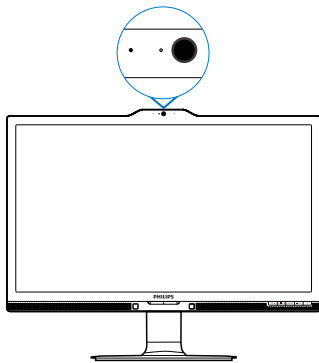
1. 前面ベゼルの  ボタンを押して、OSDメニュー画面に入ります。
2. ▲または▼ボタンを押してメインメニュー[LightSensor(光センサー)]を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲または▼ボタンを押して、光センサーのオン/オフを切り替えます。

6. 内蔵ウェブカメラ(マイク付き)

注

ウェブカメラを操作するには、モニタとPCをUSBで接続する必要があります。

ウェブカメラにより、インターネット上で双方向のテレビ会議を行うことができます。ビジネスパーソンが世界中の同僚とコミュニケーションを取るためのもっとも便利で容易な方法を提供し、時間と費用を節約します。使用するソフトウェアによっては、写真の撮影、ファイルの共有、ウェブカメラを有効にすることなしにマイクのみを使用を行うこともできます。マイクと作動ライトは、ディスプレイのベゼルにあるウェブカメラの側面に付いています。

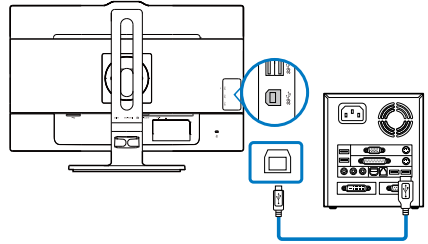


6.1 PCシステムの要件

- オペレーティングシステム: Microsoft Windows 7, Microsoft Windows Vista, Microsoft Windows XP (SP2), USB 2.0標準の下でUVC/UAC (USBビデオクラス準拠/オーディオクラス準拠)をサポートする他のOS。
- プロセッサ: 1.6GHz以上
- RAM: 512MB (XPの場合) / 1GB (VistaおよびWindows 7の場合)
- ハードディスク容量: 200MB以上
- USB: USB 2.0以上、UVC/UACのサポート

6.2 デバイスを使用する

ウェブカメラを搭載したPhilipsモニタは、USBポートを通してビデオと音声を転送します。PCからモニタのIO側にあるUSBハブのUSBアップストリームにUSBケーブルを接続するだけで、有効になります。



- PC側からモニタのIO側にあるUSBハブのアップストリームにUSBケーブルを接続します。
- PCの電源をオンにして、インターネット接続が適切に作動していることを確認します。
- Skype、Internet Messengerまたは同等品などの無料のオンラインチャットソフトウェアをダウンロードして有効にします。マルチ会議などのような、より高度な用途で使用する場合、専用ソフトウェアを申し込むこともできます。
- インターネットサービスを通して、いつでもウェブカメラを使用したり電話をかけることができます。
- ソフトウェアプログラムの指示に従って電話をかけていることを確認してください。

注

ビデオコールをセットアップするには、ISPのような信頼できるインターネット接続を行い、Internet Messengerのようなソフトウェアやテレビ電話呼び出しプログラムを使用する必要があります。電話をかけている相手が互換性のあるビデオ呼び出しソフトウェアを使用していることを確認してください。ビデオおよびオーディオパフォーマンス品質は、両方の側で利用できるバンド幅によって異なります。電話をかけている相手が、同等の機能のデバイスとソフトウェアを使用している必要があります。

7. 技術仕様

画像 / ディスプレイ	
モニターパネルの種類	AH-IPS LCD
バックライト	LED
パネルサイズ	23.8" 幅 (60.5 cm)
縦横比	16:9
画素ピッチ	0.137 mm x 0.137 mm
SmartContrast	50,000,000:1
応答時間 (標準)	14ms
SmartResponse (選択したモデルで利用可能) (標準)	5ms(GtG)
最適解像度	DP: 3840x2160 @ 60Hz, 3840x2160 @ 30Hz DVI: 3840x2160 @ 30Hz, 2560x1440 @ 60Hz VGA: 1920x1080 @ 60Hz HDMI 2.0: 3840x2160 @ 60Hz, 3840x2160 @ 30Hz
表示角度 (標準)	178° (H) / 178° (V) @ C/R > 10
表示色	107 万色、10Bit (8Bit + A-FRC)
垂直リフレッシュレート	56-80Hz (VGA) 23-80Hz (DVI/HDMI 2.0/DisplayPort)
水平周波数	30-99KHz (VGA/DVI) 30-140KHz (HDMI 2.0) 30-160KHz (DisplayPort)
MHL	1080P@60Hz
sRGB	あり
輝度の均一性	93%-105%
色差	<3
コネクタ	
入出力	DVI (デジタル)、VGA(アナログ)、DisplayPort (ディスプレイポート)、MHL-HDMI
USB	USB 3.0 x 3 1つの高速充電器を含む
入力信号	セパレート同期、緑で同期
オーディオケーブル (オプション) イン/アウト	PC 音声入力、ヘッドフォン出力
ユーザーインターフェース	
内蔵スピーカー (標準)	2 W x 2
マルチ画面	PIP/PbP モード、2 x デバイス
ユーザーコントロールキー	MULTIVIEW / ▼ USER / ▲ / OK
OSD 言語	英語、ドイツ語、スペイン語、ギリシャ語、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ウクライナ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語
その他のユーザーインターフェース	VESA マウント (100 x 100mm)、Kensington ロック

画像 / ディスプレイ			
プラグアンドプレイ互換性	DDC/CI、sRGB、Windows 8.1/8/7、Mac OSX		
スタンド			
チルト	-5 / +20°		
スイベル	-175 / +175°		
高さ調節	130mm		
ピボット	90°		
電源			
オン	43.6W (標準), 76.4W (最大)		
スリープ (スタンバイ)	<0.5W (標準)		
オフ	<0.5W (標準)		
オン (ECO モード)	20.6W (標準)		
電源(EnergyStarテスト方式)			
消費エネルギー	AC 入力電圧 100VAC、50Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常取り扱い	30.11W (標準)	29.99W (標準)	28.59W (標準)
スリープ (スタンバイ)	<0.78W (標準)	<0.78W (標準)	<0.82W (標準)
オフ	<0.2W (標準)	<0.2W (標準)	<0.23W (標準)
熱放散 *	AC 入力電圧 100VAC、50Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常取り扱い	102.78 BTU/時 (標準)	102.35 BTU/時 (標準)	97.58 BTU/時 (標準)
スリープ (スタンバイ)	<2.67 BTU/時 (標準)	<2.67 BTU/時 (標準)	<2.79 BTU/時 (標準)
オフ	<0.67 BTU/時 (標準)	<0.67 BTU/時 (標準)	<0.78 BTU/時 (標準)
電源 LED インジケータ オン	オン: 白、スタンバイ / スリープモード: 白 (点滅)		
PowerSensor	8.7W (標準)		
電源	AC アダプタ、100-240VAC、50-60Hz		
寸法			
製品 (スタンド付き) (幅 × 高さ × 奥行き)	531 × 422 × 256 mm		
製品 (スタンドなし) (幅 × 高さ × 奥行き)	531 × 363 × 52 mm		
重量			
製品 (スタンド付き)	5.85 kg		
製品 (スタンドなし)	3.36 kg		
製品 (梱包付き)	9.625 kg		
環境条件			
温度 (操作時)	0°C ~ 40°C		
湿度 (操作時)	20% ~ 80%		
気圧: (動作時)	700 ~ 1060hPa		

7. 技術仕様

温度範囲 (非操作時)	-20°C ~ 60°C
湿度 (非操作時)	10% ~ 90%
気圧 : (非操作時)	500 ~ 1060hPa

環境およびエネルギー

ROHS	対応
EPEAT	ゴールド (www.epeat.net)
梱包	100% リサイクル可能
特定物質	100% PVC BFR を含まない筐体
エネルギースター	対応

適合規格

規制認可	CE マーク、FCC クラス B、SEMKO、cETLus、CU-EAC、TCO Certified Edge、TUV-GS、TUV-ERGO、EPA、PSB、WEEE、RCM、UKRAINIAN、CCC、CECP、PSE、KC、ICES-003、E-standby、J-MOSS
------	--

キャビネット

色	シルバー / ブラック
仕上げ	テクスチャ

注

1. EPEAT ゴールドまたはシルバーは、Philips が製品を登録している場合のみ有効です。お住まいの国の登録状況については、www.epeat.net にアクセスしてください。
2. このデータは事前の通知なしに変更することがあります。パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。
3. スマートな応答時間は、GtG または GtG (BW) テストによる最適値です。

7.1 解像度とプリセットモード

1 最大解像度

1920 × 1080 @ 60 Hz (アナログ入力)
3840 × 2160 @ 60 Hz (デジタル入力)

2 推奨解像度

3840 × 2160 @ 60 Hz (デジタル入力)

水平周波数 (kHz)	解像度	垂直周波数 (Hz)
31.47	720 × 400	70.09
31.47	640 × 480	59.94
35.00	640 × 480	66.67
37.86	640 × 480	72.81
37.50	640 × 480	75.00
37.88	800 × 600	60.32
46.88	800 × 600	75.00
48.36	1024 × 768	60.00
60.02	1024 × 768	75.03
44.77	1280 × 720	59.86
60	1280 × 960	60
63.89	1280 × 1024	60.02
79.98	1280 × 1024	75.03
55.94	1440 × 900	59.89
70.64	1440 × 900	74.98
65.29	1680 × 1050	59.95
67.50	1920 × 1080	60.00
88.79	2560 × 1440	59.95
65.69	3840 × 2160	29.98
133.31	3840 × 2160	60.00

注

- ディスプレイは3840 × 2160 @ 60Hzの解像度で最高の画像を表示します。最高の表示品質を得るには、この解像度推奨に従ってください。

推奨解像度

VGA: 1920×1080 @ 60Hz

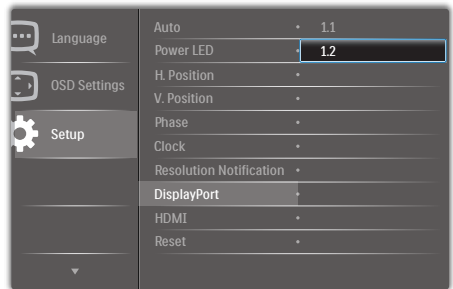
DVI: 3840×2160 @ 30Hz, 2560×1440 @

60Hz

HDMI 2.0/DisplayPort: 3840×2160 @ 60Hz,
3840×2160 @ 30Hz

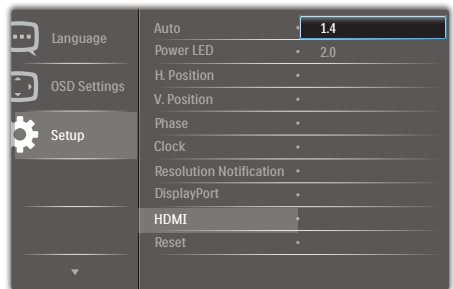
- 工場出荷時の設定である DisplayPort v1.1 は 3840 × 2160 @ 30 Hz の解像度をサポートします。最適化された解像度である 3840 × 2160 @ 60Hz を使用するには、OSD メニューに入り、設定を DisplayPort v1.2 に変更してください。また、グラフィックカードで DisplayPort v1.2 がサポートされていることを確認してください。

設定パス: [OSD] / [Setup] / [DisplayPort] / [1.1, 1.2]



- HDMI 1.4/2.0設定: 工場出荷時の設定は HDMI 1.4であり、市場に出回っているほとんどのBlu-Ray/DVDプレーヤーをサポートします。Blu-Ray/DVDプレーヤーが HDMI 2.0に対応している場合、HDMI 2.0 に設定を変更できます。

設定パス: [OSD] / [Setup] / [HDMI] / [1.4,2.0]



8. 電源管理

PCにVESA DPM 準拠のディスプレイカードを取り付けているか、またはソフトウェアをインストールしている場合、モニターは使用していないときにその消費電力を自動的に抑えることができます。キーボード、マウスまたはその他の入力デバイスからの入力が発見されると、モニターは自動的に「呼び起こされます」。次の表には、この自動省電力機能の電力消費と信号が示されています。

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	水平 同期	垂直 同期	使用電力	LED色
アクティブ	オン	あり	あり	43.6W(標準) 76.4W(最大)	白
スリープ (スタンバイ)	オフ	なし	なし	0.5W(標準)	白(点滅)
オフ	オフ	-	-	0.5W(標準)	オフ

次のセットアップは、このモニターの消費電力を測定するために使用されます。

- ネーティブ解像度: 3840 × 2160
- コントラスト: 50%
- 輝度: 100%
- Color temperature (色温度): 6500k (完全な白パターンの場合)

注

このデータは事前の通知なしに変更することがあります。

9. 規制情報

Congratulations!

This product is TCO Certified - for Sustainable IT



TCO Certified is an international third party sustainability certification for IT products.

TCO Certified ensures that the manufacture, use and recycling of IT products reflect environmental, social and economic responsibility. Every TCO Certified product model is verified by an accredited independent test laboratory.

Along with meeting all requirements in TCO Certified, this product also meets the exclusive TCO Certified Edge certification, recognizing best in class products in a specific sustainability attribute.

Summary of TCO Certified Criteria: Corporate Social Responsibility

Socially responsible production - working conditions and labor law in manufacturing country

Energy Efficiency

Energy efficiency of product and power supply. Energy Star compliant, where applicable

Environmental Management System

Manufacturer must be certified according to either ISO 14001 or EMAS

Minimization of Hazardous Substances

Limits on cadmium, mercury, lead & hexavalent chromium including requirements for mercury-free products, halogenated substances and hazardous flame retardants

Design for Recycling

Coding of plastics for easy recycling. Limit on the number of different plastics used.

Product Lifetime, Product Take Back

Minimum one-year product warranty. Minimum three-year availability of spare parts. Product takeback

Packaging

Limits on hazardous substances in product packaging. Packaging prepared for recycling

Ergonomic, User-centered design

Visual ergonomics in products with a display. Adjustability for user comfort (displays, headsets) Acoustic performance-protection against sound spikes (headsets) and fan noise (projectors, computers) Ergonomically designed keyboard (notebooks)

Electrical Safety, minimal electro-magnetic Emissions

Third Party Testing

All certified product models have been tested in an independent, accredited laboratory.

A detailed criteria set is available for download at www.tcodevelopment.com, where you can also find a searchable database of all TCO Certified IT products.

TCO Development, the organization behind TCO Certified, has been an international driver in the field of Sustainable IT for 20 years. Criteria in TCO Certified are developed in collaboration with scientists, experts, users and manufacturers. Organizations around the world rely on TCO Certified as a tool to help them reach their sustainable IT goals. We are owned by TCO, a non-profit organization representing office workers. TCO Development is headquartered in Stockholm, Sweden, with regional presence in North America and Asia.

For more information, please visit:

www.tcodevelopment.com

User define mode is used for TCO Certified compliance.

Lead-free Product

Lead free display promotes environmentally sound recovery and disposal of waste from electrical and electronic equipment. Toxic substances like Lead has been eliminated and compliance with European community's stringent RoHs directive mandating restrictions on hazardous substances in electrical and electronic equipment have been adhered to in order to make Philips monitors safe to use throughout its life cycle.

EPEAT

(www.epeat.net)



The EPEAT (Electronic Product Environmental Assessment Tool) program evaluates computer

desktops, laptops, and monitors based on 51 environmental criteria developed through an extensive stakeholder consensus process supported by US EPA.

EPEAT system helps purchasers in the public and private sectors evaluate, compare and select desktop computers, notebooks and monitors based on their environmental attributes. EPEAT also provides a clear and consistent set of performance criteria for the design of products, and provides an opportunity for manufacturers to secure market recognition for efforts to reduce the environmental impact of its products.

Benefits of EPEAT

Reduce use of primary materials
Reduce use of toxic materials

Avoid the disposal of hazardous waste EPEAT'S requirement that all registered products meet ENERGY STAR's energy efficiency specifications, means that these products will consume less energy throughout their life.

CE Declaration of Conformity



This product is in conformity with the following standards

- EN60950-1:2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011+A2:2013(Safety requirement of Information Technology Equipment).
- EN55022:2010(Radio Disturbance requirement of Information Technology Equipment).
- EN55024:2010 (Immunity requirement of Information Technology Equipment).
- EN61000-3-2:2006+A1:2009+A2:2009 (Limits for Harmonic Current Emission).
- EN61000-3-3:2008 (Limitation of Voltage Fluctuation and Flicker) following provisions of directives applicable.
- 2006/95/EC (Low Voltage Directive).
- 2004/108/EC (EMC Directive).
- 2009/125/EC (ErP Directive, EC No. 1275/2008 Implementing Directive for Standby and Off mode power consumption)

And is produced by a manufacturing organization on ISO9000 level.

- ISO9241-307:2008 (Ergonomic requirement, Analysis and compliance test methods for electronic visual displays).
- GS EK1-2000:2011 (GS mark requirement).
- prEN50279:1998 (Low Frequency Electric and Magnetic fields for Visual Display).
- MPR-II (MPR:1990/8/1990:10 Low Frequency Electric and Magnetic fields).
- TCO CERTIFIED (Requirement for Environment Labeling of Ergonomics, Energy, Ecology and Emission, TCO: Swedish Confederation of Professional Employees) for TCO versions.

Energy Star Declaration

(www.energystar.gov)



As an ENERGY STAR® Partner, we have determined that this product meets the ENERGY STAR® guidelines for energy efficiency.

Note

We recommend you switch off the monitor when it is not in use for a long time.

Federal Communications Commission (FCC) Notice (U.S. Only)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

⚠ Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Use only RF shielded cable that was supplied with the monitor when connecting this monitor to a computer device.

To prevent damage which may result in fire or shock hazard, do not expose this appliance to rain or excessive moisture.

THIS CLASS B DIGITAL APPARATUS MEETS ALL REQUIREMENTS OF THE CANADIAN INTERFERENCE-CAUSING EQUIPMENT REGULATIONS.

FCC Declaration of Conformity

Declaration of Conformity for Products Marked with FCC Logo,

United States Only



This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Commission Federale de la Communication (FCC Declaration)

⚠ Cet équipement a été testé et déclaré conforme aux limites des appareils numériques de class B, aux termes de l'article 15 Des règles de la FCC. Ces limites sont conçues de façon à fournir une protection raisonnable contre les interférences nuisibles dans le cadre d'une installation résidentielle.

CET appareil produit, utilise et peut émettre des hyperfréquences qui, si l'appareil n'est pas installé et utilisé selon les consignes données, peuvent causer des interférences

nuisibles aux communications radio. Cependant, rien ne peut garantir l'absence d'interférences dans le cadre d'une installation particulière. Si cet appareil est la cause d'interférences nuisibles pour la réception des signaux de radio ou de télévision, ce qui peut être décelé en fermant l'équipement, puis en le remettant en fonction, l'utilisateur pourrait essayer de corriger la situation en prenant les mesures suivantes:

- Réorienter ou déplacer l'antenne de réception.
- Augmenter la distance entre l'équipement et le récepteur.
- Brancher l'équipement sur un autre circuit que celui utilisé par le récepteur.
- Demander l'aide du marchand ou d'un technicien chevronné en radio/télévision.
- ❗ Toutes modifications n'ayant pas reçu l'approbation des services compétents en matière de conformité est susceptible d'interdire à l'utilisateur l'usage du présent équipement.

N'utiliser que des câbles RF armés pour les connections avec des ordinateurs ou périphériques.

CET APPAREIL NUMERIQUE DE LA CLASSE B RESPECTE TOUTES LES EXIGENCES DU REGLEMENT SUR LE MATERIEL BROUILLEUR DU CANADA.

EN 55022 Compliance (Czech Republic Only)

This device belongs to category B devices as described in EN 55022, unless it is specifically stated that it is a Class A device on the specification label. The following applies to devices in Class A of EN 55022 (radius of protection up to 30 meters). The user of the device is obliged to take all steps necessary to remove sources of interference to telecommunication or other devices.

Pokud není na typovém štítku počítáno uvedeno, že spadá do třídy A podle EN 55022, spadá automaticky do třídy B podle EN 55022. Pro zařízení zařazená do třídy A (chranné pásmo 30m) podle EN 55022 platí následující. Dojde-li k rušení telekomunikačních nebo jiných zařízení je uživatel povinen provést taková opatření, aby rušení odstránil.

Polish Center for Testing and Certification Notice

The equipment should draw power from a socket with an attached protection circuit (a three-prong socket). All equipment that works together (computer; monitor; printer; and so on) should have the same power supply source.

The phasing conductor of the room's electrical installation should have a reserve short-circuit protection device in the form of a fuse with a nominal value no larger than 16 amperes (A).

To completely switch off the equipment, the power supply cable must be removed from the power supply socket, which should be located near the equipment and easily accessible.

A protection mark "B" confirms that the equipment is in compliance with the protection usage requirements of standards PN-93/T-42107 and PN-89/E-06251.

Wymagania Polskiego Centrum Badań i Certyfikacji

Urządzenie powinno być zasilane z gniazda z przyłączonym obwodem ochronnym (gniazdo z kółkiem). Współpracujące ze sobą urządzenia (komputer, monitor, drukarka) powinny być zasilane z tego samego źródła.

Instalacja elektryczna pomieszczenia powinna zawierać w przewodzie fazowym rezerwową ochronę przed zwarciami, w postaci bezpiecznika o wartości znamionowej nie większej niż 16A (amperów).

W celu całkowitego wyłączenia urządzenia z sieci zasilania, należy wyjąć wtyczkę kabla zasilającego z gniazda, które powinno znajdować się w pobliżu urządzenia i być łatwo dostępne.

Znak bezpieczeństwa "B" potwierdza zgodność urządzenia z wymaganiami bezpieczeństwa użytkownika zawartymi w PN-93/T-42107 i PN-89/E-06251.

Pozostałe instrukcje bezpieczeństwa

- Nie należy używać wtyczek adapterowych lub usuwać kołka obwodu ochronnego z wtyczki. Jeżeli konieczne jest użyć przedłużacza to należy użyć przedłużacza 3-żyłowego z prawidłowo połączonym przewodem ochronnym.
- System komputerowy należy zabezpieczyć przed nagłymi, chwilowymi wzrostami lub spadkami napięcia, używając eliminatora przepięć, urządzenia doposażającego lub bezzakłócenowego źródła zasilania.
- Należy upewnić się, aby nic nie leżało na kablach systemu komputerowego, oraz aby kable nie były umieszczone w miejscu, gdzie można byłoby na nie nakładycie lub potykać się o nie.
- Nie należy rozłączać napojów ani innych płynów na system komputerowy.
- Nie należy wpychać żadnych przedmiotów do otworów systemu komputerowego, gdyż może to spowodować pożar lub porażenie prądem, poprzez zwarcie elementów wewnętrznych.
- System komputerowy powinien znajdować się z dala od grzejników i źródeł ciepła. Ponadto, nie należy blokować otworów wentylacyjnych. Należy unikać kładzenia luznych papierów pod komputer oraz umieszczania komputera w ciasnym miejscu bez możliwości cyrkulacji powietrza wokół niego.

North Europe (Nordic Countries) Information

Placering/Ventilation

VARNING:

FÖRSÄKRA DIG OM ATT HUVUDBRYTARE OCH UTTAG ÄR LÄTÅTKOMLIGA, NÄR DU STÄLLER DIN UTRUSTNING PÅPLATS.

Placering/Ventilation

ADVARSEL:

SØRG VED PLACERINGSFOR, AT NETLEDNINGENS STIK OG STIKKONTAKT ER NEMT TILGÆNGELIGE.

Paikka/Ilmankierto

VAROITUS:

SIIJOITA LAITE SITEN, ETTÄ VERKKOJOHTO VOIDAAN TARVITTAESSA HELPOSTI IRROTTAA PISTORASIESTA.

Plassering/Ventilasjon

ADVARSEL:

NÅR DETTE UTSTYRET PLASSERES, MÅ DU PASSE PÅ AT KONTAKTENE FOR STØMTILFØRSEL ER LETTE Å NÅ.

Ergonomie Hinweis (nur Deutschland)

Der von uns gelieferte Farbmonitor entspricht den in der "Verordnung über den Schutz vor Schäden durch Röntgenstrahlen" festgelegten Vorschriften.

Auf der Rückwand des Gerätes befindet sich ein Aufkleber, der auf die Unbedenklichkeit der Inbetriebnahme hinweist, da die Vorschriften über die Bauart von Störstrahlern nach Anlage III \square 5 Abs. 4 der Röntgenverordnung erfüllt sind.

Damit Ihr Monitor immer den in der Zulassung geforderten Werten entspricht, ist darauf zu achten, daß

1. Reparaturen nur durch Fachpersonal durchgeführt werden.
2. nur original-Ersatzteile verwendet werden.
3. bei Ersatz der Bildröhre nur eine bauartgleiche eingebaut wird.

Aus ergonomischen Gründen wird empfohlen, die Grundfarben Blau und Rot nicht auf dunklem Untergrund zu verwenden (schlechte Lesbarkeit und erhöhte Augenbelastung bei zu geringem Zeichenkontrast wären die Folge). Der arbeitsplatzbezogene Schalldruckpegel nach DIN 45 635 beträgt 70dB (A) oder weniger.

⚠ ACHTUNG: BEIM AUFSTELLEN DIESES GERÄTES DARAUFG ACHTEN, DAß NETZSTECKER UND NETZKABELANSCHLUß LEICHT ZUGÄNGLICH SIND.

EU Energy Label



The European Energy Label informs you on the energy efficiency class of this product. The greener the energy efficiency class of this product is the lower the energy it consumes.

On the label, you can find the energy efficiency class, the average power consumption of this product in use and the average energy consumption for 1 year.

ⓘ Note

The EU Energy Label will be **ONLY** applied on the models bundling with HDMI and TV tuners.

China RoHS

The People's Republic of China released a regulation called "Management Methods for Controlling Pollution by Electronic Information Products" or commonly referred to as China RoHS. All products produced and sold for China market have to meet China RoHS request.

中国大陆RoHS

根据中国大陆《电子电气产品有害物质限制使用标识要求》，以下部分列出了本产品中可能包含的有害物质的名称和含量

本表适用之产品

显示器、平板电视、监视器

有害物质

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr6+)	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
外壳	○	○	○	○	○	○
液晶显示屏/灯管	×	×	○	○	○	○
电路板组件*	×	○	○	○	○	○
电源适配线	×	○	○	○	○	○
电源线/连接线	×	○	○	○	○	○
遥控器	○	○	○	○	○	○

本表格根据SJ/T 11364 的规定编制。

- *: 电路板组件包括印刷电路板及其构成的零部件，如电阻、电容、集成电路、连接器等。
- : 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572规定的限量要求以下。
- ×: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T 26572规定的限量要求。

上表中打“×”的部件，应功能需要，部分有害物质含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求，但符合欧盟 RoHS 法规要求（属于豁免部分）。

Restriction on Hazardous Substances statement (India)

This product complies with the "India E-waste Rule 2011" and prohibits use of lead, mercury, hexavalent chromium, polybrominated biphenyls or polybrominated diphenyl ethers in concentrations exceeding 0.1 weight % and 0.01 weight % for cadmium, except for the exemptions set in Schedule 2 of the Rule.

E-Waste Declaration for India



This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your other household waste. Instead it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling in India please visit the below web link.

<http://www.india.philips.com/about/sustainability/recycling/index.page>



环保使用期限

此标识指期限(十年), 电子信息产品中含有的有毒有害物质或元素在正常使用的条件下不会发生外泄或突变, 电子信息产品用户使用该电子信息产品不会对环境造成严重污染或对其人身、财产造成严重损害的期限。

中国能源效率标识

根据中国大陆《能源效率标识管理办法》本显示器符合以下要求：

能源效率(cd/W)	> 1.05
能效等级	1级
能效标准	GB 21520-2008

详细有关信息请查阅中国能效标识网：<http://www.energylabel.gov.cn/>

《废弃电器电子产品回收处理管理条例》
提示性说明

为了更好地关爱及保护地球，当用户不再需要此产品或产品寿命终止时，请遵守国家废弃电器电子产品回收处理相关法律法规，将其交给当地具有国家认可的回收处理资质的厂商进行回收处理。

Information for U.K. only**WARNING - THIS APPLIANCE MUST BE EARTHED.****Important:**

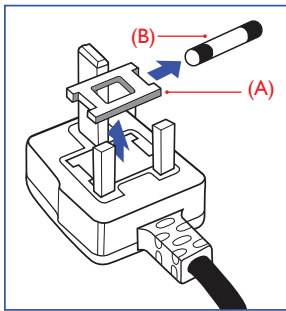
This apparatus is supplied with an approved moulded 13A plug. To change a fuse in this type of plug proceed as follows:

1. Remove fuse cover and fuse.
2. Fit new fuse which should be a BS 1362 5A, A.S.T.A. or BSI approved type.
3. Retit the fuse cover.

If the fitted plug is not suitable for your socket outlets, it should be cut off and an appropriate 3-pin plug fitted in its place.

If the mains plug contains a fuse, this should have a value of 5A. If a plug without a fuse is used, the fuse at the distribution board should not be greater than 5A.

NOTE: The severed plug must be destroyed to avoid a possible shock hazard should it be inserted into a 13A socket elsewhere.

**How to connect a plug**

The wires in the mains lead are coloured in accordance with the following code:

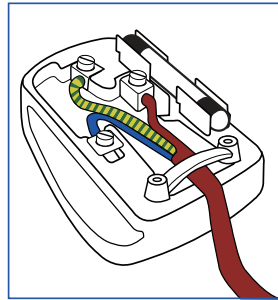
BLUE - "NEUTRAL" ("N")

BROWN - "LIVE" ("L")

GREEN&YELLOW - "EARTH" ("E")

1. The GREEN&YELLOW wire must be connected to the terminal in the plug which is marked with the letter "E" or by the Earth symbol or coloured GREEN or GREEN&YELLOW.
2. The BLUE wire must be connected to the terminal which is marked with the letter "N" or coloured BLACK.
3. The BROWN wire must be connected to the terminal which is marked with the letter "L" or coloured RED.

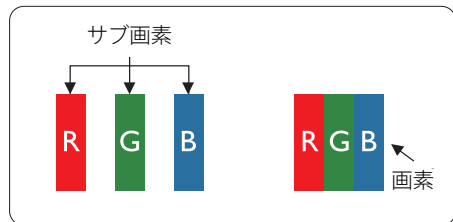
Before replacing the plug cover, make certain that the cord grip is clamped over the sheath of the lead - not simply over the three wires.



10. カスタマサポートと保証

10.1 Philipsのフラットパネルモニタ画素欠陥ポリシー

Philips は最高品質の製品を提供するために懸命に努力しています。当社は、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を使用しています。しかしながら、フラットパネルモニタで使用される TFT モニタパネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、欠陥があるモニタを修理または交換することを保証します。この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、それぞれの種類について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証期間中の修理または交換の資格を取得するには、TFT モニタパネルの画素欠陥数がこれらの受け入れられるレベルを超えている必要があります。例えば、モニタのサブ画素の 0.0004% を超えただけで欠陥となります。さらに、Philips は特定の種類または組み合わせの画素欠陥については、他社より顕著に高い品質基準を設けています。このポリシーは全世界で有効です。



画素とサブ画素

画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の3つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3つの色の付いたサブ画素が1つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3つの色の付いたサブ画素は1つの黒い画素として集まって表示

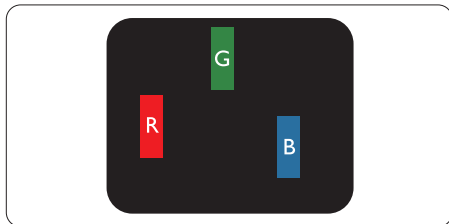
されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の1つの画素として表示されます。

画素欠陥の種類

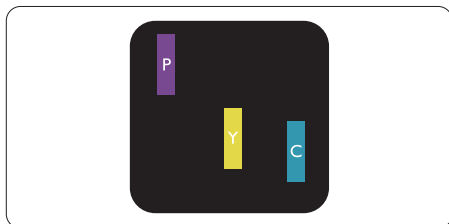
画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には2つのカテゴリがあり、各カテゴリにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、明るいドットはモニタが暗いパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、明るいドット欠陥の種類を紹介します。



1つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。



2つの隣接する点灯サブ画素：

- 赤 + 青 = 紫
- 赤 + 緑 = 黄
- 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)



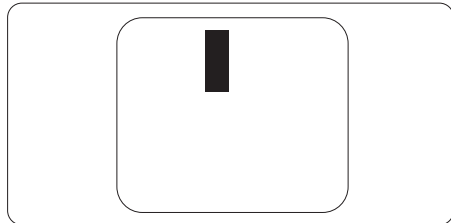
3つの隣接する点灯サブ画素 (1つの白い画素)。

注

緑の明るいドットが近接したドットより30パーセント以上明るい場合、赤または青の明るいドットは近接するドットより50パーセント以上明るくなっている必要があります。

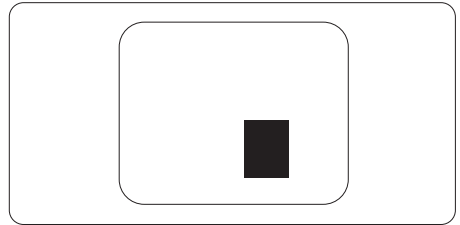
黒いドット欠陥

黒いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、暗いドットはモニタが明るいパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、黒いドット欠陥の種類を紹介します。



画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとても目立つため、Philips では画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。



画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips フラットパネルモニタの TFT モニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	3
2つの隣接する点灯サブ画素	1
3つの隣接する点灯サブ画素 (1つの白い画素)	0
2つの明るいドット欠陥の間の距離*	>15mm
すべての種類の明るいドット欠陥の総数	3
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	5つ以下
2つの隣接する暗いサブ画素	2つ以下
3つの隣接する暗いサブ画素	0
2つの黒いドット欠陥の間の距離*	>15mm
すべての種類の黒いドット欠陥の総数	5つ以下
ドット欠陥の総数	受け入れられるレベル
すべての種類の明るいまたは黒いドット欠陥の総数	5つ以下

注

- 1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥
- このモニタは ISO9241-307 準拠です (ISO9241-307: 電子式画像表示に対するエルゴノミック要件、分析および準拠性テスト方法)

10.2 カスタマサポートと保証

お客様の地域で有効な保証範囲の情報と追加サポート要件の詳細については、www.philips.com/support Web サイトにアクセスしてください。以下に一覧した最寄りの Philips カスタマケアセンターの番号にお問い合わせになることもできます。西ヨーロッパ地域の連絡先情報：

西ヨーロッパ地域の連絡先情報：

国	CSP	ホットライン番号	価格	営業時間
Austria	RTS	+43 0810 000206	€ 0.07	Mon to Fri : 9am - 6pm
Belgium	Ecare	+32 078 250851	€ 0.06	Mon to Fri : 9am - 6pm
Cyprus	Alman	800 92 256	Free of charge	Mon to Fri : 9am - 6pm
Denmark	Infocare	+45 3525 8761	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Finland	Infocare	+358 09 2290 1908	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
France	Mainteq	+33 082161 1658	€ 0.09	Mon to Fri : 9am - 6pm
Germany	RTS	+49 01803 386 853	€ 0.09	Mon to Fri : 9am - 6pm
Greece	Alman	+30 00800 3122 1223	Free of charge	Mon to Fri : 9am - 6pm
Ireland	Celestica	+353 01 601 1161	Local call tariff	Mon to Fri : 8am - 5pm
Italy	Anovo Italy	+39 840 320 041	€ 0.08	Mon to Fri : 9am - 6pm
Luxembourg	Ecare	+352 26 84 30 00	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Netherlands	Ecare	+31 0900 0400 063	€ 0.10	Mon to Fri : 9am - 6pm
Norway	Infocare	+47 2270 8250	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Poland	MSI	+48 0223491505	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Portugal	Mainteq	800 780 902	Free of charge	Mon to Fri : 8am - 5pm
Spain	Mainteq	+34 902 888 785	€ 0.10	Mon to Fri : 9am - 6pm
Sweden	Infocare	+46 08 632 0016	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
Switzerland	ANOVO CH	+41 02 2310 2116	Local call tariff	Mon to Fri : 9am - 6pm
United Kingdom	Celestica	+44 0207 949 0069	Local call tariff	Mon to Fri : 8am - 5pm

中国の連絡先情報：

国	コールセンター	顧客ケア番号
China	PCCW Limited	4008 800 008

北米の連絡先情報：

国	コールセンター	顧客ケア番号
U.S.A.	EPI-e-center	(877) 835-1838
Canada	EPI-e-center	(800)479-6696

10. 顧客ケアと保証

中央および東ヨーロッパ地域の連絡先情報：

国	コールセンター	CSP	顧客ケア番号
Belarus	N/A	IBA	+375 17 217 3386 +375 17 217 3389
Bulgaria	N/A	LAN Service	+359 2 960 2360
Croatia	N/A	MR Service Ltd	+385 (01) 640 1111
Czech Rep.	N/A	Asupport	420 272 188 300
Estonia	N/A	FUJITSU	+372 6519900(General) +372 6519972(workshop)
Georgia	N/A	Esabi	+995 322 91 34 71
Hungary	N/A	Profi Service	+36 1 814 8080(General) +36 1814 8565(For AOC&Philips only)
Kazakhstan	N/A	Classic Service I.l.c.	+7 727 3097515
Latvia	N/A	ServiceNet LV	+371 67460399 +371 27260399
Lithuania	N/A	UAB Servicenet	+370 37 400160(general) +370 7400088 (for Philips)
Macedonia	N/A	AMC	+389 2 3125097
Moldova	N/A	Comel	+37322224035
Romania	N/A	Skin	+40 21 2101969
Russia	N/A	CPS	+7 (495) 645 6746
Serbia&Montenegro	N/A	Kim Tec d.o.o.	+381 11 20 70 684
Slovakia	N/A	Datalan Service	+421 2 49207155
Slovenia	N/A	PC H.and	+386 1 530 08 24
the republic of Belarus	N/A	ServiceBy	+375 17 284 0203
Turkey	N/A	Tecpro	+90 212 444 4 832
Ukraine	N/A	Topaz	+38044 525 64 95
Ukraine	N/A	Comel	+380 5627444225

ラテンアメリカ地域の連絡先情報：

国	コールセンター	顧客ケア番号
Brazil	Vermont	0800-7254101
Argentina		0800 3330 856

APMEA 地域の連絡先情報：

国	ASP	顧客ケア番号	営業時間
Australia	AGOS NETWORK PTY LTD	1300 360 386	Mon.~Fri. 9:00am-5:30pm
New Zealand	Visual Group Ltd.	0800 657447	Mon.~Fri. 8:30am-5:30pm
Hong Kong Macau	Company: Smart Pixels Technology Ltd.	Hong Kong: Tel: +852 2619 9639 Macau:Tel: (853)-0800-987	Mon.~Fri. 9:00am-6:00pm Sat. 9:00am-1:00pm
India	REDINGTON INDIA LTD	Tel: 1 800 425 6396 SMS: PHILIPS to 56677	Mon.~Fri. 9:00am-5:30pm
Indonesia	PT. CORMIC SERVISINDO PERKASA	+62-21-4080-9086 (Customer Hotline) +62-8888-01-9086 (Customer Hotline)	Mon.~Thu. 08:30-12:00; 13:00-17:30 Fri. 08:30-11:30; 13:00-17:30
Korea	Alphascan Displays, Inc	1661-5003	Mon.~Fri. 9:00am-5:30pm Sat. 9:00am-1:00pm
Malaysia	R-Logic Sdn Bhd	+603 5102 3336	Mon.~Fri. 8:15am-5:00pm Sat. 8:30am-12:30am
Pakistan	TVONICS Pakistan	+92-213-6030100	Sun.~Thu. 10:00am-6:00pm
Singapore	Philips Electronics Singapore Pte Ltd (Philips Consumer Care Center)	(65) 6882 3966	Mon.~Fri. 9:00am-6:00pm Sat. 9:00am-1:00pm
Taiwan	FETEC.CO	0800-231-099	Mon.~Fri. 09:00 - 18:00
Thailand	Axis Computer System Co., Ltd.	(662) 934-5498	Mon.~Fri. 8:30am~05:30pm
South Africa	Computer Repair Technologies	011 262 3586	Mon.~Fri. 8:00am~05:00pm
Israel	Eastronics LTD	1-800-567000	Sun.~Thu. 08:00-18:00
Vietnam	FPT Service Informatic Company Ltd. - Ho Chi Minh City Branch	+84 8 38248007 Ho Chi Minh City +84 5113.562666 Danang City +84 5113.562666 Can tho Province	Mon.~Fri. 8:00-12:00, 13:30- 17:30,Sat. 8:00-12:00
Philippines	EA Global Supply Chain Solutions ,Inc.	(02) 655-7777; 6359456	Mon.~Fri. 8:30am~5:30pm
Armenia Azerbaijan Georgia Kyrgyzstan Tajikistan	Firebird service centre	+97 14 8837911	Sun.~Thu. 09:00 - 18:00
Uzbekistan	Soniko Plus Private Enterprise Ltd	+99871 2784650	Mon.~Fri. 09:00 - 18:00
Turkmenistan	Technostar Service Centre	+(99312) 460733, 460957	Mon.~Fri. 09:00 - 18:00
Japan	フィリップスマニター ・サポートセンター	0120-060-530	Mon.~Fri. 10:00 - 17:00

11. トラブルシューティング & FAQ

11.1 トラブルシューティング

このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

1 よくある問題

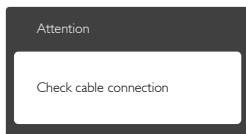
写真が表示されない (電源 LED が点灯しない)

- 電源コードがコンセントとモニタ背面に差し込まれていることを確認してください。
- まず、モニタ前面の電源ボタンがオフ位置にあることを確認してから、オン位置まで押します。

写真が表示されない (電源 LED が白くなっている)

- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。
- モニタケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります

画面に次のようなメッセージが表示される



- モニタケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。(また、クイックスタートガイドも参照してください)。

- モニタケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。

AUTO(自動) ボタンが機能しない

- 自動機能はVGA-Analog (VGAアナログ) モードでのみ適用可能です。結果が満足のゆくものでない場合、OSDメニューを通して手動調整を行うことができます。

注

Auto(自動) 機能は、DVI-Digital (DVI デジタル) 信号モードでは必要ないため適用されません。

煙やスパークの明らかな兆候がある

- いかなるトラブルシューティング手順も行わないでください。
- 安全のため、直ちに主電源からモニタの接続を切ってください
- 直ちに、Philipsカスタマサポートに連絡してください。

2 画像の問題

画像が中央に表示されない

- OSDメインコントロールで「Auto(自動)」機能を使用して、画像位置を調整してください。
- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase/Clock(フェーズ/クロック)を使用して、画像位置を調整してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像が画面で揺れる

- 信号ケーブルがグラフィックスボードやPCにしっかり、適切に接続されていることを確認してください。

垂直フリッカが表示される



- OSDメインコントロールで「Auto(自動)」機能を使用して、画像を調整してください。

11.トラブルシューティング & FAQ

- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase/Clock(フェーズ/クロック)を使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

水平フリッカーが表示される



- OSDメインコントロールで「Auto(自動)」機能を使用して、画像を調整してください。
- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase/Clock(フェーズ/クロック)を使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像がぼやけたり、不明瞭に、または暗く見える

- オンスクリーンディスプレイでコントラストと輝度を調整してください。

電源がオフになった後でも、「後イメージ」、「焼き付き」または「ゴースト像」が残る。

- 長時間静止画像を連続して表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。
- モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
- LCDモニタが変化しない静止コンテンツを表示している場合、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。
- スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。

ます。上で触れた損傷は保証には含まれません。

画像が歪んで表示される。テキストが不鮮明である、またはぼやけて見える。

- PCのディスプレイ解像度をモニタの推奨される画面のネイティブ解像度と同じモードに設定してください。

緑、赤、青、暗い、白いドットが画面に表示される

- ドットが消えずに残るのは今日の技術で使用される液晶の通常の特性です。詳細については、Philips 販売店にお尋ねください。

「電源オン」ライトが強すぎて、邪魔になる

- OSDのメインコントロールの電源LEDセットアップを使用して、「電源オン」ライトを調整できます。

詳細については、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

11.2一般FAQ

Q1: モニタを取り付けるとき、画面に「Cannot display this video mode(このビデオモードを表示できません)」というメッセージが表示された場合、どうすればいいのですか？

A: このモニタの推奨される解像度：
3840 x 2160 @ 60 Hz

- すべてのケーブルを抜き、PCを以前使用していたモニタに接続します。
- WindowsのStart(スタート)メニューで、Settings/Control Panel(設定/コントロールパネル)を選択します。コントロールパネルウィンドウで、画面アイコンを選択します。Display(画面)のコントロールパネル内部で、「Settings」(「設定」)タブを選択します。設定タブの下の「Desktop Area(デスクトップ領域)」とラベルされたボックスで、スライダを3840 x 2160画素に動かします。
- 「Advanced Properties」(詳細プロパティ)を開き、Refresh Rate(リフレッシュレート)を60 Hzに設定し、OKをクリックします。

11. トラブルシューティング & FAQ

- コンピュータを再起動し、2と3の手順を繰り返してPCが3840 × 2160 @ 60 Hzに設定されていることを確認します。
- コンピュータを停止し、古いモニタを取り外し、Philips LCDモニタを再接続します。
- モニタの電源をオンにしてから、PCの電源をオンにします。

Q2: LCD モニタの推奨されるリフレッシュレートは何ですか？

A: LCD モニタの推奨されるリフレッシュレートは 60 Hz です。画面が乱れた場合、75 Hz まで設定して乱れが消えることを確認できます。

Q3: CD-ROM の .inf と .icm ファイルは何のためのものですか？ ドライバ (.inf と .icm) はどのようにインストールできますか？

A: これらは、モニタ用のドライバファイルです。ユーザーマニュアルの指示に従って、ドライバをインストールしてください。モニタを初めてインストールするとき、モニタドライバ (.inf と .icm ファイル) またはドライバディスクを求められます。指示に従って、このパッケージに含まれる付属 CD-ROM を挿入してください。モニタドライバ (.inf と .icm ファイル) は、自動的にインストールされます。

Q4: 解像度はどのように調整すればいいのですか？

A: ビデオカード / グラフィックドライバとモニタは使用可能な解像度を一緒に決定します。Windows® のコントロールパネルの「Display properties(画面のプロパティ)」でお好みの解像度を選択することができます。

Q5: OSD を通してモニタを調整しているときに忘れた場合、どうなりますか？

A: OK ボタンを押し、次に「Reset(リセット)」を選択してすべての工場出荷時設定に戻します。

Q6: LCD 画面はきつかり傷への耐久性がありますか？

A: 一般に、パネル面に過度の衝撃を与えず、鋭いまたは先の尖った物体から保護するようにお勧めします。モニタを取り扱っているとき、パネルの表面に圧力や力がかかっていないことを確認してください。保証条件に影響が及ぶ可能性があります。

Q7: LCD 表面はどのようにして洗浄すればいいのですか？

A: 通常洗浄の場合、きれいで、柔らかい布を使用してください。洗浄する場合、イソプロピルアルコールを使用してください。エチルアルコール、エタノール、アセトン、ヘキサンなどの溶剤を使用しないでください。

Q8: モニタの色設定を変更できますか？

A: はい、OSD コントロールを介して、次の手順で色設定を変更できます。

- 「OK」を押してOSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューを表示します
- 「下矢印」を押してオプション「Color(色)」を選択し、「OK」を押して色設定に入ります。以下のように、3つの設定があります。
 1. Color Temperature(色温度) : 5000K、6500K、7500K、8200K、9300K、11500K の 6 つの設定があります。5000K 範囲で設定されている場合、パネルには「温かい、赤 - 白色調」と、また 11500K 温度範囲では、「冷たい青 - 白色調」というメッセージが表示されます。
 2. sRGB : これは、標準設定で、異なるデバイス(例えば、デジタルカメラ、モニタ、プリンタ、スキャナなど)間で色が正しく変換されていることを確認します。
 3. User Define(ユーザー定義) : ユーザーは赤、緑、青色を調整することで、お気に入りの色設定を変更できます。

注

加熱されている間、物体によって放射された光の色の測定。この測定は、絶対温度目盛り(ケルビン度)によって表されます。2004K など低いケルビン温度は赤で、9300K などの高い温度は青です。6504K での中間温度は、白です。

Q9: LCD モニタを PC、ワークステーション、Mac に接続できますか？

A: はい、できます。すべての Philips LCD モニタは、標準の PC、Mac、ワークステーションに完全に対応しています。Mac システムにモニタを接続するには、ケーブルアダプタが必要です。詳細については、Philips 販売店にお尋ねください。

Q10: Philips LCD モニタはプラグアンドプレイ対応ですか？

A: はい。モニタは、Windows 8.1/8/7、Mac OS X とプラグアンドプレイ互換です。

Q11: LCD パネルの画像固着、または画像焼き付き、後イメージ、ゴースト像とは何ですか？

A: 長時間静止画像を連続して表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。スクリーンセーバーや定期的スクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

モニターを使用しない間は、常にモーション型のスクリーンセーバープログラムを有効にしておいてください。

で変化のない静止コンテンツを表示する場合は、定期的画面更新アプリケーションを常に有効にしておいてください。


警告

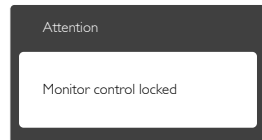
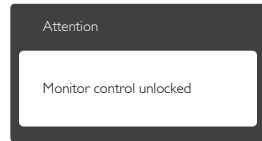
ひどい「焼き付き」または「後イメージ」または「ゴースト像」症状は消えずにのこり、修理することはできません。これらによる損傷は保証には含まれません。

Q12: 私のディスプレイがシャープなテキストを表示せず、ぎざぎざのある文字を表示するのはなぜですか？

A: お使いの LCD モニタは 3840 × 2160 @ 60 Hz のネイティブ解像度で最高の機能を発揮します。もっとも望ましい画像を表示するには、この解像度を使用してください。

Q13: ホットキーを解除 / ロックする方法は？

A:  / OK を 10 秒間押して、ホットキーを解除 / ロックします。こうすることで、以下の例のように、モニタは「注意」をポップアウト表示しロック解除 / ロック状態を示します。



11.3 Multiview FAQ

Q1: ソースが DVI や HDMI の場合、PiP や PbP を有効にできないのはどうしてですか？

A: メインソースとサポートするサブソースについては、以下の表を参照してください。

MultiView	入力	サブソースの可能性 (x)			
		VGA	DP	DVI	MHL-HDMI
メインソース (x)	VGA	●	●	●	●
	DP	●	●	●	●
	DVI	●	●	●	●
	MHL-HDMI	●	●	●	●

Q2: PiP サブウィンドウを拡大できますか？

A: はい、できます。3つのサイズから選択できます。[Small] (小)、[Middle] (中)、[Large] (大)。[] を押して OSD メニューに入ることができます。[PiP / PbP] メインメニューから優先する [PiP Size] (PiP サイズ) オプションを選択してください。

Q3: ビデオから独立して、オーディオケーブル (オプション) を聴くにはどうすればいいのですか？

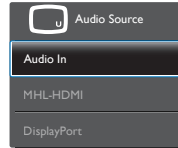
A: 通常、オーディオケーブル (オプション) ソースはメインのピクチャソースにリンクされています。オーディオケーブル (オプション) ソースの入力を変更したい場合 (例: ビデオソース入力には関わりなく独立して MP3 プレーヤーを聴く)、[] を押して OSD メニューに入ることができます。

[Audio] (オーディオケーブル (オプション)) メインメニューからお気に入りの

[Audio Source] (オーディオケーブル (オプション) ソース) オプションを選択してください。

モニタを次にオンにするとき、モニタはデフォルトで最後に選択されたオーディオケーブル (オプション) ソー

スを選択します。これを再び変更したい場合、上のステップを行ってお気に入りのオーディオケーブル (オプション) ソースを新しく選択して「デフォルト」モードにする必要があります。





© 2015 Koninklijke Philips N.V. All rights reserved.

Philips と Philips Shield Emblem は Koninklijke Philips N.V. の登録商標で、Koninklijke Philips N.V.からライセンスを受けて使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン: M6241PV1L